

「沢山の知識をつけることができた講話」

1年中村凜華(小浜中出身)

私は年間を通して福祉科では、多くの講話をしていただき、沢山の知識を増やすことができました。

その中で印象に残っているのは「聴覚の講話」です。たとえ耳が聞こえなくても手話で話せば障害のない人と同じように暮らしていくことができるのはすごくいいことだと思いました。しかし、聴覚には沢山の種類があり、1つ1つ覚えるのは大変でした。

講師の先生の話を、耳が聞こえない人は寝ている時災害に気づくのに音で気づくことができないので、ランプで気づくことがわかりました。もっと工夫された物が増えてほしいと思いました。

今後も色々な講話をしっかりと聞いて、自分の知識を増やしたいと思います。



「福祉施設で学んだこと」

1年 田中詩乃(有家中出身)

私は1年間福祉科の中でたくさんの行事に参加しました。色々な福祉に関係している施設に行き、授業では学べないことを学びました。



福祉施設では子どもたちが通う放課後等デイサービスに行き、どのような支援がされているのを見ました。子どもたちはとても明るく元気で見えていただけで元気をもらいました。

利用者さん一人一人に個性があるのをそれぞれに合った支援をおこなう大切さを学びました。

←利用者の方が一人にだけ1時間1人のスペースをもうけてある部屋です。



1年

「一年間の実習を通して学んだこと」

1年 森川優我(カ津佐中出身)

1年間を通して校内実習や施設実習で多くの介護技術を身につけることができました。

最初の施設実習では、いろいろな不安を抱きながらも、職員の方の分かりやすく優しい指導と、利用者さんの笑顔にとても癒され、前向きな気持ちになりました。職員の方と利用者さんが楽しくコミュニケーションを取っていたり、利用者さんには、一人一人個性があり、それぞれが違っていたりして、沢山の学ぶことができました。

校内実習では、「移動・移乗の介助」や「衣服の着脱、入浴介助」など様々な介助をして、介護技術を習得することができました。2年生でも、実習が沢山あると思うので、これからも多くのことを学んで実践していきたいです。



「未来の福祉のための報告会」

1年 溝田ののか(南有馬中出身)

先日、南島原市の市長の前で、「南島原市地域福祉計画等策定に係る高校生によるワークショップ報告会」において発表を行いました。口加高校と島原翔南高校が、これから南島原市をよりよくするために、何をしたらいいのかを考え、それぞれプレゼンテーションをしました。私達は、①「高齢化率の上昇」、②「要介護認定率の上昇」、③「福祉関係従事者の不足」、④「待機高齢者」を課題とし、これに対する解決策を考えました。



まずは、自分達にできることから積極的に行動していき、より快適に過ごせるまちづくりを目指していきたいです！